

| | |
|--------------------------|--|
| 氏名 | おがわ ひろお 小川 裕雄 (鍼灸科・鍼灸マッサージ科科长) |
| 担当科目 | あん摩実習 I・II、総合講座 7、11 |
| 趣味 | 旅行、登山、水泳、ジョギング |
| 所属学会・ 研究発表・ 著書・その他 | [所属学会等]全日本鍼灸学会(関東支部 学術委員) [研究発表]「水泳のスポーツ傷害に関する調査」、「ランニングのスポーツ傷害に関する調査」他 [著書]スポーツ東洋療法ハンドブック(共著)、社会あはき学(共著) |
| 略歴 | 子供の頃、夜泣きや疳の虫、喘息などあり小児鍼を受けた経験がありました。また、虚弱体質の割に腕白で怪我が絶えず接骨院通いをしていました。こんな記憶が脳裏に染みこんでいたのでしょう。 東京医療専門学校鍼灸マッサージ科、柔道整復科を卒業し鍼灸マッサージ師、柔道整復師になりました。更に鍼灸マッサージ教員養成科を卒業し、東京医療専門学校で教員を20年勤めた後、平成26年4月に呉竹医療専門学校に移動になり現在に至っています。 |
| メッセージ | 皆さんがご自分で治療を受ける場合、鍼灸マッサージ院を選ぶ基準は何ですか？知識、技術はもとより治療院の先生の人間性ではないですか。呉竹医療専門学校では臨床現場で最も必要とされる豊かな人間性教育に主眼が置かれています。 鍼灸マッサージ師の養成学校に入学したら、鍼灸マッサージ師になるしか職業選択の自由はありません。将来の展望をしっかりと見据えた上で入学を希望してください。鍼灸マッサージはすぐれた治療法です。中国3,000年の歴史といわれていますが、いい加減な治療法では自然淘汰され現代社会に連綿と受け継がれてこなかったはずですが。鍼灸マッサージ師になるということは人生において希望あるすばらしい選択だと思います。 |

